



あいさつ

小笠・榛原大会実行委員長
榛原地区学校保健会会長
山田 泰巳

第64回静岡県学校保健研究大会小笠・榛原大会の牧之原市での開催にあたり、県内各地より多くの御参加をいただき、ありがとうございました。また、御多用の中、御臨席賜りました御来賓の皆様には深く感謝申し上げます。

今大会において表彰を受けられました学校保健功労者86人、健康推進優秀学校・優良学校3校、学校歯科保健優秀学校・優良学校19校、学校環境衛生活動優良学校19校の皆様には、これまで学校保健の普及・発展に御貢献いただきましたことに深く敬意を表しますとともに、受賞されましたことを心よりお祝い申し上げます。なお、健康推進優秀学校賞を受賞されました伊豆の国市立大仁中学校校長の渡辺健幸様には、受賞者を代表して御挨拶をいただきましたことに感謝申し上げます。

本大会では、「21世紀を心豊かに生きる すこやかな子どもの育成をめざして」を主題として、実践発表と記念講演を行いました。

実践発表では、小笠地区学校保健会養護教諭・栄養教諭部より「自分の身体と主体的に向き合う子どもの育成 ～切れ目のない健康教育を進めるための効果的な連携のあり方～」を研究主題として、原野谷学園の「正しい姿勢と近視の進行を防ぐための取組 ～ICTが急速に普及する中で～」と菊西学舎の「早寝早起き朝ごはん ～「睡眠」と「朝食」の両輪にアプローチした取組～」について、9年間を一貫として捉えた中学校区での取組の発表がありました。願う子ども像を共有し、発達段階に応じて、繰り返し指導することによって「切れ目のない健康教育」を推進する大変参考になる発表でした。

記念講演では、神奈川県立保健福祉大学の高橋佐和子准教授より「養護教諭の専門性を活かした保健教育とは」を演題として、“保健教育は楽しい みんなでチャレンジしよう”と、養護教諭が職務遂行に意欲的に取り組むことへの後押しをしていただくとともに、一方的な管理ではなく、子ども自身が考えるように関わることの大切さなどについて多大なる御教示を賜りました。

本大会での貴重な実践発表と示唆に富む御講演が、日常的な健康教育や保健管理に生かされていくことを願っております。

結びに、次代を担う子どもたちの健やかな成長のために、学校保健に携わる皆様の一層の御支援、御協力を賜りますようお願いするとともに、静岡県学校保健会のさらなる御発展を祈念して挨拶いたします。